

当NPOのミッション（使命）は、空知産炭地域が今後も持続可能な地域として再生することにあります。その手がかりとして地域固有の資源である**炭鉱の記憶**に着目した当NPOでは、**炭鉱の記憶**が地域再生にとって有用であることを先駆的・実践的に示すことで、地域内外の様々な主体を**炭鉱の記憶**をもとにした再生に方向付け大きな流れを作る活動を展開しています。

活動の戦略的な拠点として、2009年に岩見沢市にマネジメントセンターを開設し、2010年にはセンターの活動基盤も定着したことから堅実に成果をあげつつあります。そこで、2011年の当NPOの活動は、引き続きマネジメントセンターを基軸にして、次のような視点から2012年以降の活動を展望できる体制の構築を基本方針とします。

- ① マネジメントセンターの持続的な展開に向けて確固たる基盤を作る（特に収益力）
- ② マネジメントセンターを中心とした重層的な関係を複合させ価値を創出する
- ③ 空知各地域でバランスの取れた活動展開

■出版事業

- ブックレットの刊行

■炭鉱遺産事業

- 「その先マップ」（まち歩きガイド）の刊行と関連催事の開催
- iPodガイドシステムの運用
- 炭鉱遺産の保全・活用に向けた新基軸の可能性模索（ナショナルトラスト、基金造成など）

■学術支援事業

- 地域振興に資する学術研究の支援・連携
- 炭鉱遺産の文化財指定のサポート

■市民団体連携事業

- 管内の市民団体との関係の強化
- 国内外の炭鉱遺産関係者・団体へのアピールと受入対応

■拠点施設事業

- 補助事業の継続受託によるマネジメントセンターの運営
- 収益力の具備に向けた職員の技能向上と試行的な実践
- マネジメントセンターの2012年度以降の継続開設の模索

■道央圏域連携事業

- 小樽・室蘭・空知の3拠点を結ぶ催事の継続開催と札幌圏との連動

■会務

- 会員へのスペシャルサービスの充実
- 理事会活動の活性化

第4号議案 2011年度収支計画

2011年 特定非営利活動に係る事業会計 収支予算書

2011年1月1日～2011年12月31日

特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団

科 目	金 額 (円)	主要な細項目 (千円)
I 経常収入の部		
1 会費収入	1,000,000	
2 事業収入	3,000,000	研究受託1,500■、負担金協賛金500▲、センター1,000●
3 寄付金収入	50,000	
4 補助金収入	18,700,000	ふるさと雇用17,500●、地域政策補助1,200▲
5 助成金収入	500,000	
6 受取利息	450	
7 その他事業からの繰入金	0	
当期経常収入合計	23,250,450	
前期繰越収支額	2,123,050	
経常収入合計	25,373,500	
II 経常支出の部		
1 事業費		
出版事業	400,000	
炭鉱遺産保全活用事業	400,000	
学術支援事業	700,000	■
市民団体連携事業	500,000	
拠点施設運営事業	15,500,000	●
道央圏域連携事業	3,400,000	▲
事業費小計	20,900,000	
2 管理費		
給料手当	3,000,000	
旅費交通費	350,000	
租税公課	60,000	
その他経費	40,000	
管理費小計	3,450,000	
経常支出合計	24,350,000	
次期繰越収支差額	1,023,500	

2011年その他事業会計 収支予算書

2011年1月1日～2011年12月31日

特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団

該当事項なし